平成 29 年度（2017 年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑　　法

B 日程入試

（注意）
１．問題冊子（表紙を含む）は２枚です。
２．問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
３．問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
４．解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 29 年度（2017 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑　　法

問題

つぎの事例を読んで、Ｘ・Ｙの罪責を論じなさい。

被告人Ｘは、相被告人Ｙに対して女性看護師の強姦を持ちかけ、Ｙがこれに応じる発言をしたことから、ＸとＹは、Ｘの運転する自動車で某日午前３時３０分ころ、滋賀県内所在のＰ病院敷地内に赴いた。Ｘ・Ｙの共謀内容は、まずＸが一人で犯行現場において帰寮する看護師を待ち伏せて被害者を襲い、Ｙは犯行現場に駐車した自動車付近に立って周囲の見張りをし、ＹもＸに引き続いて被害者を姦淫するというものであった。

上記共謀にもとづき、ＸがＰ病院敷地内の通路において、女性看護師Ａ（当時２４歳）を地面に倒して、同人の首を手で押さえ付け、「ほんまに殺すぞ。」などと言って脅迫し、同人の反抗を抑圧して、強いて同人を姦淫しようとした。ＡはＸから暴行等を受けた際にＹの存在を覚知したが、ＡとＹとの間の距離は約２０メートル程度離れていた。

だが、見張りをしていたＹが、誰かが来た旨を叫んでＸに合図をしたため、Ｘ・Ｙは、上記自動車に乗って逃走したため、その目的を遂げなかった。